

平成 30 年 8 月 吉日

大学関係者各位

一般財団法人テレコム先端技術研究支援センター  
会 長 安田 靖彦

### SCAT研究奨励金の募集のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当センターの事業につきまして格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当センターでは、わが国の将来を担う優れた研究能力を有する情報工学、通信工学分野を専攻する大学院博士課程在学者に対して、研究に専念可能になるよう研究奨励金を支給してまいりましたが、引き続き本年度も研究奨励金の募集を行います。

応募方法としましては、各大学院の研究科長等責任者のご推薦をいただき、推薦された方に応募していただく仕組みとしております。

つきましては、貴大学において来年度に大学院博士後期課程に進学予定の学生の中に研究奨励金の受給を希望される方を、候補者として1名（1研究科につき1名のみ）をご推薦いただき、同候補者に応募の手続きについてご指導いただければ誠に幸甚に存じます。応募に関する具体的な内容および方法は、同封の応募要領に示すとおりですので、よろしくお願い申し上げます。

敬具

[同封資料]

- ・ SCAT研究奨励金応募要領（記入要領、申込書含む）

《連絡先》 一般財団法人テレコム先端技術研究支援センター  
事業部 中村  
〒162-0067 東京都新宿区富久町 16-5 新宿高砂ビル  
TEL (03)3351-8148 FAX (03)3351-1624  
E-mail scatjosei@scat.or.jp

## SCAT研究奨励金応募要領

一般財団法人テレコム先端技術研究支援センター

### 1. 研究奨励の趣旨

わが国は、低炭素社会の実現、少子高齢化対策など社会体制の大きな変革が求められています。こうした困難な課題を解決するために情報通信技術が果たすべき役割はますます高まっており、先端的な情報通信技術の研究開発の重要性が増大しています。そのため、情報通信技術分野における、わが国の次世代を支える若い研究者の育成が極めて重要です。当センターでは、このような認識のもとに、優れた研究能力を有する大学院博士後期課程の学生に対して、その研究を支援するため、研究奨励金を支給します。

### 2. 研究奨励の対象とする研究者

先端的な情報通信技術分野の研究を専攻する、日本国内の大学院博士後期課程に進学する学生を対象とします。

### 3. 応募資格

以下のすべての条件に該当し、研究科長等が推薦する学生とします。なお推薦は、1 研究科につき1名とさせていただきます。

- (1) 平成31年4月に以下のいずれかの大学院博士課程に進学予定の者又は平成30年10月期に以下のいずれかの大学院博士課程に進学した者
  - (a) 区分制の博士後期課程第1年次
  - (b) 一貫制の博士課程第3年次
  - (c) 後期3年の課程のみの博士課程第1年次
- (2) 研究能力に優れ、かつ、健康である者
- (3) 他の奨学金を受けていない者又は受ける予定のない者（独立行政法人日本学生支援機構の奨学金を除く。）
- (4) 定職に就いていない者

※応募後、上記(1)～(4)の資格を満たさなくなった場合は速やかに申し出てください。

(特に、当SCAT研究奨励金への応募後、他の奨学金の受給が決まった時にご注意ください。例えば、日本学術振興会の特別研究員-DC1 など。)

### 4. 研究奨励金支給額及び採用予定数

1人当たり月額10万円とし、数件程度の採用を予定しています。

## 5. 研究奨励金支給期間

大学院博士課程在学の3年間を越えない期間とします。ただし、平成30年10月期に大学院博士課程に進学した者は、平成30年10月から平成31年3月までの期間は支給されません。

## 6. 研究奨励金支給開始時期及び支給方法

支給開始時期は2019年5月とします。4月分と5月分を5月に、以降同様に2ヶ月分ずつ奇数月に研究奨励金対象者本人名義の銀行口座に振込みます。

## 7. 研究奨励金対象者の義務

- (1) 研究奨励金対象者への採用通知を受けた応募者には、研究奨励金の受給に先立って、誓約書を提出していただきます。
- (2) 研究奨励金対象者は、研究奨励金の趣旨に基づき研究に専念しなければなりません。
- (3) 毎年12月に研究状況報告書を提出していただきます。なお、この内容は当センターの年次報告書に掲載し公開させていただきます。
- (4) 助成期間終了後、速やかに研究最終報告書を提出していただきます。
- (5) 研究奨励金対象者は、以下に該当する場合には速やかに届け出ていただきます。
  - ① 前3. 項の応募資格の(2)～(4)を満たさなくなったとき
  - ② 傷病などのため長期(6ヶ月以上)に亘って研究ができなくなったとき
  - ③ 休学、転学又は退学するとき
  - ④ 給付を辞退するとき
  - ⑤ 海外留学をするとき(この期間は奨励金の支給が停止されます。)
- (6) 研究奨励金返還の義務はありません。

## 8. 応募方法

### (1) 応募書類の入手方法

研究科長より推薦を受けた応募者は、当センターのホームページから応募書類をダウンロードしてください。ダウンロードできない方は、下記の当センター窓口までご請求ください。

〒162-0067 東京都新宿区富久町16-5 新宿高砂ビル  
一般財団法人テレコム先端技術研究支援センター 事業部  
TEL (03)3351-8148 FAX (03)3351-1624  
E-mail: scatjosei@scat.or.jp  
http://www.scat.or.jp

(2) 応募に必要な書類と提出方法

応募に当たっては、以下の書類を簡易書留で当センター宛に郵送してください。直接当センターに持参されても受け付けません。

① SCAT研究奨励金申込書 4部 (本書1部と写し3部)

② 添付資料 各4部

- ・研究計画
- ・現在までの研究概要
- ・研究業績一覧
- ・研究業績のうち主要なもの (論文等)
- ・作文 (研究者としての将来について考えること)
- ・その他 (例: 他の奨励金を受けるのが困難な理由など)

③ 研究科長の推薦書 (所定用紙) 4部 (本書1部と写し3部)

④ 学業成績証明書 (学部、修士課程) 各1部

なお、①SCAT研究奨励金申込書及び②添付資料 (「研究業績のうち主要なもの」を除く) は、郵送に加えて、E-mailの添付ファイルでも送付してください。添付ファイルはPDF化しないでください。

件名は「2018SCAT研究奨励金応募 (現所属機関名 応募者名)」としてください。

(3) 応募期間

平成30年10月1日 (月) ~平成30年11月30日 (金) (最終日の消印有効)

(4) 応募書類の提出先

郵送及びE-mail提出先は、前記8.(1)項の応募書類の請求窓口と同じです。

9. 審査

審査は提出された応募書類により行い、研究奨励金対象者は当センターが設置した研究助成審査委員会で決定します。

10. 結果の通知

研究奨励金対象者への採否の結果は、平成31年3月に推薦者 (研究科長等) 及び応募者にお知らせします。

11. 研究奨励金の打ち切り

研究奨励金対象者が以下に該当する場合には、研究奨励金を打ち切ることとします。

- (1) 前記3. 応募資格の (2)~(4)を満たさなくなったとき
- (2) 傷病などのために長期 (6ヶ月以上) に亘って研究ができなくなったとき
- (3) 休学又は退学したとき
- (4) 給付を辞退したとき

## 12. その他

- (1) 提出された書類は返却いたしません。
- (2) 応募内容についての秘密は厳守します。
- (3) 応募書類は個人情報保護に留意し、研究奨励事業を遂行する範囲でのみ使用します。
- (4) 審査の経過及び内容に関するお問い合わせには応じられません。
- (5) 助成対象者名を当センターのホームページに掲載させていただきます。掲載項目は対象者名・所属、研究テーマ及び助成期間です。
- (6) その他、お問い合わせは、前記8.(1)項の応募書類の請求窓口にお願いします。

以上

## SCAT研究奨励金申込書 および添付資料記入要領

### (1) SCAT研究奨励金申込書

1. 「応募者」：応募者の氏名を記入し、フリガナを付し、必ず押印してください。漢字を使う習慣のない国の方は、カタカナ表記または英語表記してください。連絡先は、自宅の住所、電話番号、E-mail を記入してください。当センターからの事務連絡先になります。
2. 「現在の所属」：学生ならば、大学名、研究科名、専攻を、組織に所属している場合は組織名、部署、役職を記入してください。
3. 「学歴」：卒業大学名、学科、入学大学院名、研究科、専攻、および年月記入してください。また、博士課程入学見込みである大学院名、研究科、専攻、および年月を記入してください。
4. 「博士課程の種別」：以下の種別から1つを選択し、いずれかにx点をつけてください。
  - (1) 区分制の博士後期課程第1年次
  - (2) 一貫性の博士課程第3年次
  - (3) 後期3年の課程のみの博士課程第1年次
5. 「研究経歴」：これまでの研究経歴について、期間と研究テーマを記入してください。また、研究の職についていた場合には職名を記入してください。
6. 「研究テーマ」：対象の研究テーマを記入してください。研究内容を具体的に簡潔に表現してください（全角40字以内）。技術分野は、以下の技術分野から1つを選択し、その区分を記入してください。

区分	技術分野
1	光通信・ネットワーク技術とその応用 (光通信方式、デジタル信号処理、音声・画像処理、トラヒック・ルーティング制御、フォトニックネットワークなど)
2	情報処理技術 (ハードウェア、ソフトウェア、データベース、人工知能(AI)、自然言語処理、音声・画像処理、IoT、セキュリティ、クラウド、ロボットなど)
3	無線・宇宙通信技術 (無線通信方式、無線アクセス、アンテナ・電波伝搬、放送技術など)
4	マイクロエレクトロニクス・材料技術 (デバイス、分子素子、ナノテクノロジーなど)

(括弧内は例示です)

7. 「現在の研究指導者」：学生ならば現在修士課程で行っている研究の指導者を、組織に所属して研究している研究者の場合はその研究の指導者を記入してください。
8. 「推薦者」：研究科長等の推薦者を記入してください。

## (2) 添付資料

### 1. 「研究計画」

- (1) 研究課題について、研究の目的と意義、その特色、独創性および波及効果などについて述べ、それをどのような研究方法で行うのかを、具体的に 2,000 字以内で記入してください。
- (2) 共同研究の場合には、応募者が担当する部分を明らかにしてください。

### 2. 「現在までの研究概要」

研究課題についての、現在までの研究内容を 2,000 字以内で記入してください。

### 3. 「研究業績一覧」

#### (1) 学術雑誌等に発表した論文（掲載を決定したものを含む）

- ① 題名、掲載誌名、年月、著者を記入し、共著の場合には主著者にアンダーラインを付してください。
- ② 掲載を決定したものについては、受理証明書の写を添付してください。

#### (2) 学会発表論文

題名、学会名、場所、年月、発表者名を記入し、共同研究の場合には共同研究者名も記入してください。

#### (3) その他研究業績となる事項

### 4. 「研究業績のうち主要なもの」

「研究業績一覧」(1)から(3)の中から、主要なものについて3件程度、写し（A4サイズに統一したもの）を添付してください。

### 5. 「作文」

テーマは、『研究者としての将来について考えること』です。  
2,000 字～4,000 字で述べてください。

### 6. 「その他」

他に説明したいことがありましたら記述してください（例えば、他の奨励金を受けるのが困難な理由など）。

以上

# SCAT研究奨励金申込書

一般財団法人テレコム先端技術研究支援センター  
会長 安田 靖彦 殿

平成 30 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日

貴財団の研究奨励金を申し込みます。

■ 応募者

氏名 \_\_\_\_\_ (印) 年齢 \_\_\_\_ 歳 (平成31年4月1日現在)  
 フリガナ \_\_\_\_\_ 生年月日 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_ 日  
 自宅連絡先  
 郵便番号 \_\_\_\_\_  
 住所1 \_\_\_\_\_  
 住所2 \_\_\_\_\_  
 TEL: \_\_\_\_\_ E-mail: \_\_\_\_\_

■ 現在の所属

所属機関 \_\_\_\_\_  
 学科/部署 \_\_\_\_\_  
 専攻/役職 \_\_\_\_\_  
 所在地 \_\_\_\_\_  
 郵便番号 \_\_\_\_\_  
 住所1 \_\_\_\_\_  
 住所2 \_\_\_\_\_  
 TEL: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_ E-mail: \_\_\_\_\_

■ 学歴

学部 (卒業)	昭和/平成 ____ 年 ____ 月	_____	大学 学部
修士 (入学)	昭和/平成 ____ 年 ____ 月	_____	学科 大学大学院
博士 (入学見込み)	平成 ____ 年 ____ 月	_____	研究科 専攻 大学大学院
		_____	研究科
		_____	専攻

■ 博士課程の種別

- 区分制の博士後期課程第1年次
- 一貫性の博士課程第3年次
- 後期3年の課程のみの博士課程第1年次

■ 研究経歴(含職歴)

経歴1 昭和/平成 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_  
 経歴2 昭和/平成 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_  
 経歴3 昭和/平成 \_\_\_\_ 年 \_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_

■ 研究テーマ

テーマ名 \_\_\_\_\_  
 技術分野 \_\_\_\_\_

■ 現在の研究指導者

氏名 \_\_\_\_\_  
 フリガナ \_\_\_\_\_  
 所属機関 \_\_\_\_\_  
 部署 \_\_\_\_\_  
 役職 \_\_\_\_\_  
 所在地 \_\_\_\_\_  
 郵便番号 \_\_\_\_\_  
 住所1 \_\_\_\_\_  
 住所2 \_\_\_\_\_  
 TEL: \_\_\_\_\_ FAX: \_\_\_\_\_

## SCAT研究奨励金申込書

■推薦者

氏名 \_\_\_\_\_  
フリガナ \_\_\_\_\_  
所属機関 \_\_\_\_\_  
部署 \_\_\_\_\_  
役職 \_\_\_\_\_  
所在地 \_\_\_\_\_  
郵便番号 \_\_\_\_\_  
住所1 \_\_\_\_\_  
住所2 \_\_\_\_\_  
TEL : \_\_\_\_\_ FAX : \_\_\_\_\_

■必要添付資料

1. 研究計画
2. 現在までの研究概要
3. 研究業績一覧
4. 研究業績のうち主要なもの
5. 作文(研究者としての将来について考えること)

【H30 年度版】

応募者 [ ]

1. 「研究計画」 研究課題について、研究の目的と意義、その特色、独創性および波及効果などについて述べ、それをどのような研究方法で行うのかを、具体的に 2,000 字以内で記入してください。(本用紙 2 枚程度)

2. 「現在までの研究概要」 研究課題についての、現在までの研究内容を2,000字以内で記入してください。(本用紙2枚程度)

3. 「研究業績一覧」 学術雑誌等に発表した論文（掲載を決定したものを含む）、学会発表論文、その他研究業績となる事項。これらのうち、主要なものについて3件程度、写しを添付してください。

5. 「作文」 テーマは、『研究者としての将来について考えること』。2,000 字～4,000 字で述べてください。(本用紙2～3枚程度)

6. 「その他」(任意) 他に説明したいことがありましたら記述してください (例えば、他の奨励金を受けるのが困難な理由など)。

# 推薦書

平成30年 月 日

一般財団法人テレコム先端技術研究支援センター  
会長 安田 靖彦 殿

私は、下記により、 が貴センターの研究奨励金に応募することを推薦致します。  
なお、応募者が大学院入試で採用されなかった場合は、推薦を取り下げることとします。

所属機関： 大学大学院 研究科  
所在地：〒  
役職（注）： 氏名： (印)

(注) 工学研究科長等の責任者

申込者氏名	
研究課題	
推薦理由	(研究奨励金申込書の研究計画の遂行能力や、本人の研究者としての資質について書いてください。また、本人の健康状態についてもご確認をお願いします。)

(必要に応じて任意用紙に追加してご記入ください。)